

換気装置付き作業台

適用範囲

本対策シートは、化学物質処理やその他の作業で換気装置付きの作業台を必要とするリスクレベル 2 が適用されるときに使用する。

本対策シートは、換気作業台の下または背面から排気するときの好事例を示す。粉体または液体の計量や混合などの軽作業に適用する。

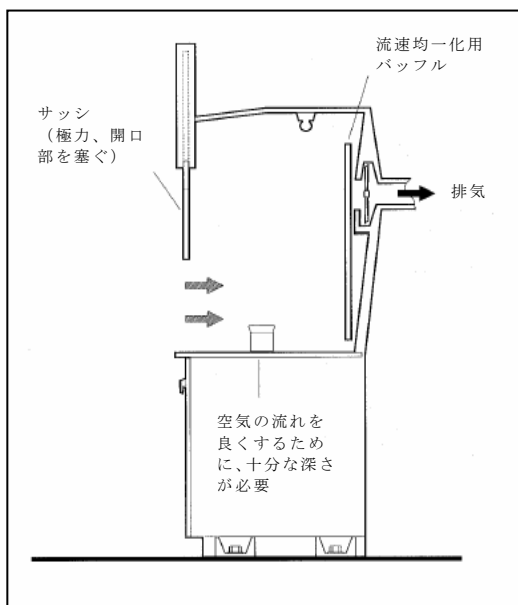
本対策シートは化学物質被害の防止に必要な注意事項も示す。すべての好事例と注意事項に従うことが重要である。化学物質によっては引火性または腐食性があるので、これらの危険性に対しても適切な管理が必要である。詳細は、各化学物質の安全データシート（SDS）上の注意事項を参照すること。汚れた空気を大気中に排出する前に、空気洗浄装置を通す必要がある場合もある。

本対策シートは作業者の健康を守るための最低限の基準を示すが、工程管理またはその他のリスク管理に必要な基準より低い管理基準を正当化するために利用してはならない。

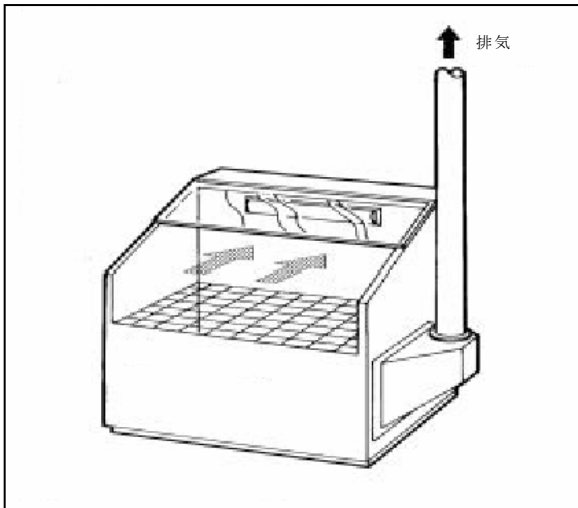
作業場

- 関係者以外を作業場に入れないようにし、風下で誰も作業していないことを確認すること。

設計と装置



- 換気装置付き作業台が規格どおり設計・設置されていることを確認すること。
- フード開口面での最小風速は、蒸気で 0.4m/s 以上、粉じんで 0.7m/s～1.0m/s とする。
- 設計者／供給業者／設置業者は、作業台または換気装置が要求される仕様・規格に準拠していることを証明すること。
- できる限り、作業空間を囲い開口部を減らすこと。また、必要な装置や材料が置ける十分な広さを確保すること。
- 十分な明るさが必要である。照明装置は防爆型や防じん型のように使用する化学物質と作業に適したものであること。
- できる限り、扉、窓、および通路から離れた場所に設置して、換気を妨害する乱れ気流を防ぐこと。
- 新鮮な空気を作業場に供給することによっ



て空気を入れ換えること。

- 扉、窓、および吸気口から離れた安全な場所に排気すること。また、排気によって近隣に迷惑がかからないように注意すること。
- マノメーター、圧力計、リボンなどの簡単な方法により、換気を確認すること。
- 作業台上に物を放置しないこと。

検査、試験、および保守

- 施工業者から装置の設計性能に関する情報を入手し、大事に保管して、その後の試験結果との比較に使うこと。
- 毎日、換気システムの電源を入れて、正しく動作することを確認すること。
- 毎週1回、ダクトの状態を目視で検査し、破損を見つけたら直ちに修理すること。
- 少なくとも年1回、システムの全機能を試験すること。
- 供給業者／設置業者の指示に従って、装置の有効性と効率を維持すること。
- 動作に問題がある場合は、装置を使用しないこと。

清掃と整備

- 作業場には当日分だけの材料を用意すること。
- 装置と作業場を毎日清掃すること。
- こぼしたものをそのまま放っておくと、粉じんまたはガス発生の原因になる。こぼしたら、直ちにきれいに拭き取ること。
- ほうきや圧搾空気を使って粉じんを取ってはならない。湿らせた布または掃除機を使うこと。
- 使い終わったら、必ず容器に蓋をすること。
- 容器は損傷しないよう安全な場所に保管すること。
- 揮発性の液体を直射日光が当たる場所に置かないこと。
- 空になった容器は安全な方法で廃棄すること。

労働衛生保護具

- 危険度 S の化学物質が皮膚、目、または皮膚から体内に入ると危険である。皮膚を化学物質から守る方法に関しては、対策シートの Sk100 を参照すること。
- 各化学物質の安全データシート（SDS）の注意事項を読むか納入業者に聞くなどし

て、必要な労働衛生保護具を用意すること。

- 保護具を保守すること。使わない場合は、きれいにしてから清潔かつ安全な場所に保管すること。
- 保護具は常時清潔に保ち、定期的に交換すること。また、破損したらすぐに交換すること。

教育と監督

- 作業者に扱う物質の危険性を知らせ、渡した対策シートと保護具が必要な理由を説明すること。
- 作業者に化学物質の安全な取扱い方を教えること。さらに、対策シートを実践していること、および問題発生時の対処方法が周知されているかを確認すること。
- 決めた注意事項が守られているか確認できる体制を確立すること。

本シートは、ILOの著作物である「The Chemical Control Toolkit」について、厚生労働省がILOより許諾を得て翻訳し、内容の改変を行ったものである。

原本：http://www.ilo.org/legacy/english/protection/safework/ctrl_banding/toolkit/icct/sheets/tcs-201.pdf

Original version of the International Chemical Control Toolkit Copyright © International Labour Organization.

Japanese translation Copyright © 2012 Chemical Hazards Control Division, Ministry of Health, Labour and Welfare.

The ILO shall not be responsible for the quality and accuracy of the translation.